よつば

今年もたわわに実ったなぁ

2018
11
NOVEMBER
No. 33

大地育み、幸せつなぐ

JA会津よつば

http://aizuyotuba.jp

特集 1

会津の秋には コレがないと！

会津の秋を彩る「会津身不知柿」。毎年自宅の柿の木を見上げて、秋の深まりを感じる人も多いのではないだろうか。昔から慣れ親しんだ柿だからこそ、「栽培」する姿は想像できないかもしれない。ブランドとして全国に届けられる柿は、生産者の努力から作られる。

よつば 11月号 目次

03 … 特集 1
会津身不知柿
極上の品をつくる生産者たち

10 … 特集 2
これからを担うミライのコメ つくばＳＤ２号

12 … 特集 3
農業十傑と会津の農業人
菊地清一さん・裕美子さん
磐梯法正尻ほうれん草

14 … トピックス

20 … YOTUBA AGRI COLLEGE
よつば農業大学
12限目：「ＪＡマネージメントと雪害対策」

22 … ＪＡ自己改革
全組合員アンケートを実施します

23 … コメナルド画伯が行く！
伊南支店

24 … 組合員資格確認のお願い

25 … 暮らしの味方
目のストレッチ方法
坂下厚生総合病院

26 … みんなの広場
クロスワード
理事会だより

広報誌 10 月号のわしは
ここにいましたぞ！
13 ページ
トピックス 4 段目

よつば 会津よつば 検索
会津よつば農業協同組合
〒965-0025 福島県会津若松市扇町 35 番地1
編集／組織広報課 TEL0242-37-2222 (代)

JAグループ
耕そう、大地と地域のみらい。

会津身不知柿

あいづみしらずがき

あなたはどれくらい知っている!?
会津身不知柿のこと

名前の由来

会津身不知柿の名前の由来は諸説ある。

- 将軍に献上したところ「未だかかる美味なるものを知らず」と評されたことから、「味不知」となり、それが「身不知」に変化した。
- 枝が折れるほどたくさんの実をつけ、その様子が「身の程知らず」→身知らずとなった。
- あまりのおいしさに、我が身を忘れるほど食べ過ぎてしまうことから。

ＪＡの選果場

ＪＡの選果場は、会津美里町の永井野選果場と、会津若松市の門田柿選果場がある。機械と人の目で丁寧に選果され、消費者へ届く。毎年待っているお客様からは、問い合わせの電話も多い。

門田柿選果場
ＴＥＬ：0242-28-4007

永井野選果場
ＴＥＬ：0242-54-4176

特徴

会津身不知柿は、会津地方で古くから栽培されてきた渋柿の品種。種なしで、丸みがあり、果肉が厚く、やわらかい。なめらかな食感でとろけるようなジューシーさが特徴。

渋抜きの方法

アルコール脱渋法

柿にアルコールを噴霧し密閉する方法。脱渋まで２週間程度かかり、やや日持ちが短い。

炭酸ガス脱渋法

密閉した柿に炭酸ガスを充填する方法。脱渋までの期間は５～６日と短く、日持ちが良い。

海外輸出

ＪＡ、会津若松市、会津坂下町、会津美里町で組織する「会津みしらず柿販路拡大促進協議会」は、会津身不知柿の海外輸出に力を入れている。

東日本大震災から休止していた輸出が再開し、今年で3年目となる。今年はタイとマレーシアに約5トン輸出する。毎年新しい取り組みの連続で、梱包から脱渋方法を変えた発送方法を採用する。

11月1日には、会津美里町の永井野選果場で、関係者約50名が集まり、海外輸出発送式が行われた。

発送式では主催者を代表して、長谷川一雄代表理事組合長が「本年度から会津若松市が同協議会に加入し、さらに組織が強化された。会津みしらず柿の海外輸出を定着させるには、高品質での現地販売が必要であり、関係機関と連携して本年度の輸出販売を成功させたい」とあいさつした。

11月22日には、同協議会から4名を派遣し、タイとマレーシアに分かれ、販売促進活動を展開する。

トラックの前で会津みしらず柿を報道陣に披露する関係者

みどり地区果樹部会　柿部
部長　渡部（わたなべ）　三郎（さぶろう）　さん（右）
光代（みつよ）　さん（左）

「できた柿」でなく「つくった柿」

会津坂下町に住む渡部三郎さん。町の議員を務めた経歴をもち、現在はみどり地区果樹部会柿部部長を務める。妻の光代さんと従業員2名、計4名で「コシヒカリ」や「ひとめぼれ」などの稲作を中心に、ソバや会津身不知柿を栽培している。

会津身不知柿を後世に・世界に

平成元年のほ場整備以降、25アールの農地で、グリーンアスパラを栽培していた三郎さん。しかし、稲作を経営のメインにするべく、収穫時期が田植え時期と重なるアスパラ作りを止め、果樹を栽培することとなった。そして、リンゴやブドウなどいろいろな品目があるなか、自分の生まれ育った会津の特産品である身不知柿を、多くの人に食べてもらい、後世に残していきたいと決心し、平成6年、52本の苗木を定植し栽培を始めた。以降24年間、味にこだわった柿を作り続けている。

ＪＡと各市町村でつくる『会津みしらず柿販路拡大促進協議会』は、海外の人にも会津身不知柿を食べてもらおうと、平成20年より、タイやマレーシアに向けて海外輸出を行っている。原発事故で、平成23年から平成27年まで海外輸出が閉ざされたが、平成28年度から再開された。三郎さんもタイの首都バンコクに直接足を運び、販売促進活動を行ってきた。

まだまだ手間暇をかける

三郎さんのおいしい柿づくりへの熱意は、65歳にしていまだ衰えていない。毎年3月頃より剪定作業を始め、ある程度花が咲いたら摘蕾作業、まだ青い部分が残る実や熟し過ぎた実の摘果など、手間暇かけておいしい柿を育てている。効率良く作業できるよう、4年ほど前から高所作業車や薬剤噴霧機などの作業機械も導入している。

三郎さんは選果場への出荷だけでなく、顧客への直販も行っている。贈答用段ボールにはラミネート加工が施されており、ふたにフィルムが貼ってある。柿のヘタ部分に焼酎を漬けて箱詰めし、ふたをすることで、ビニールを被せた状態と同じになり、中が密封される。10日ほどして渋が抜けたら、その箱詰めされた状態のままお客様のもとへ出荷される。もちろん出荷前の検品も徹底して行っている。ふたを開けて傷あり・赤く熟し過ぎた柿があれば、良い柿と取り換えている。また、検品しやすいように柿を横並びにせず、箱の底にモールドを敷いて柿を上向きに並べることで、状態のよくない柿を見逃さないようにしている。このように、生育から出荷までさまざまな手間暇をかけることで、箱を開けてすぐに食べられるおいしい柿が、お客様のもとへ届けられるのである。

「私の柿は自然に身をまかせておいしくできた柿ではない。いろんな手心を加えておいしくつくった柿だ」と語る三郎さん。現在、ＪＧＡＰ認証を受けるための申請を行っている。また、よりおいしい柿を作るため、良質な土づくりに力を入れていく予定である。渡部さんご夫妻の味にこだわった柿づくりへの挑戦は、これからも続く。

1_ ほ場からは磐梯山を望むことができる。会津の秋を象徴するような風景だ。/2_ 箱に並べられた柿。焼酎に漬けられた後、ラミネート加工されたうちぶたも使い、密封され渋抜きされる。/3~4_ この日は2人で作業。正確かつ丁寧に収穫するベテラン夫妻だ。光代さんは会津に嫁いで以降柿が大好きになり、三郎さんの柿づくりを長年支えてきた。/5_ 収穫した柿は永井野選果場や三郎さん宅に運ばれて、全国へ届けられる。

知恵を活かして、楽しくつくる

会津若松市の門田地区。会津身不知柿の産地としても名高いこの場所に、待ちに待った実りの秋がやってきた。

土から始まりみんなでつくる

門田柿選果場運営委員会の委員長、髙橋庄作さんも実りの秋を待っていた一人だ。先祖代々から栽培していた柿畑を10アールほど受け継ぐほか、水稲や梅を栽培している。

日本酒の造り酒屋でもある髙橋さんのモットーは「土産土法（どさんどほう）」だ。農業でも酒造りでも基本のテーマにしている。「酒屋を始めたのも、うちに米があったから。始まりは農業から。そして土は全ての土台。そこから生み出されるものを知恵と工夫を活かして、全員で作り上げていくことを大切にしています」と話す。柿の栽培も、剪定摘蕾は髙橋さん、摘果と消毒、草刈りは従業員の皆さん、収穫は髙橋さんを中心に、友人や知人、従業員の方にも手伝ってもらうこともある。最後の選果作業は奥さんとお嫁さん。全員で作業し、作り上げる。

「収穫してきた柿はみんなで確認する。その柿を見て、今年はこうだったとか、来年はもっとこうしたらいいのではとかをみんなで話し合うんだ」と話す。みんなで作り上げることも、やりがいや楽しさにつながると笑顔を見せる。

より良く、楽しく考え、活かす

「農業でもなんでも、ものを作ったりするのは、楽しくないといけないよ」と笑う髙橋さん。管理作業や収穫に対して、苦労だと考えないそう。どの過程でも「どうしたらいいか」を考えて、試行錯誤を楽しみながら栽培している。作業の他にも、摘果した一部の柿を利用して作った柿渋を、扉に塗ったり、一閑張で様々なものを作ったりするそうだ。「昔の人はこういうのを考えながらやっていたんだなと思うこと、それをどうやって活かそうかと考えること、年を重ねるごとに楽しくなりますね」と楽しげに話す。なかでも収穫する時が一番の楽しみだそう。大きくてきれいな柿ができたときや、今年はどんないいものがあったかな、と収穫の喜びを肌で感じられる。同じものが二度とないことも「ものづくり」のおもしろいところなんだとか。

「もちろん、自然を相手にすることだから異常気象や災害は起こってしまう。2年前の凍霜害の時もそう。完全復活にはもう少しかかるのではないだろうか」と推測する。それでも、100%を目指してがんばって、前向きにとらえていくことを心掛ける。「大自然の中で、先人の知恵と自分自身の行動をいかに活かすかが農業だから、楽しくやっていったほうがいいじゃないか」と快活に笑う。

「柿に感謝しているよ、体力もつくし、いろいろ教えられる事が多い」と髙橋さん。自分がいかに納得できるか、存在価値は自分自身が決めると話す。はつらつとした笑顔が、そのことを言葉にしなくとも物語っていた。

門田柿選果場運営委員会
委員長　髙橋（たかはし）　庄作（しょうさく）　さん

3

2

1

6

5

4

1_ この日の柿の収穫作業。皆さん手早く柿を収穫していく。/2_ 干し柿にする柿。収穫の段階である程度選果するため、干し柿用の柿は枝の部分が紐を結びやすいように工夫されている。この干し柿も景観づくりに一役買う。/3_ 髙橋さんのモットーは、瓶の蓋にも刻まれている。/4_ 造り酒屋でもある家の前には、蔵と家の間に人々を出迎えるように大きな柿の木がある。蔵を建てる際に切られる予定だったが、いい柿がなると残しておいたそう。/5_ 柿渋を塗った扉。2 年に 1 回塗り直し、手入れをしている。/6_ いつもにこやかで、はつらつとしている髙橋さん。

これからを担う ミライのコメ つくばSD2号

生産者
喜多方市 辰野（たつの） 博幸（ひろゆき） さん

つくばSD2号 機能的な業務用米

全国でも有数の米産地、会津。コシヒカリや天のつぶ、里山のつぶなどブランド米がひしめく中で、JAが推奨に力を入れるのが、業務用米の「つくばSD2号」だ。平成28年から試験栽培が始まり、今年の作付面積は、いいで地区管内で25ヘクタールに拡大している。

９月の坪刈り。毎年データを収集し、栽培に適する環境を作り上げていく。

住化アグロソリューションズ株式会社の赤川さん

なぜいま、業務用米なのか 日本の米消費の現状

家庭内で消費する「内食」と比べ、調理済のものを自宅で食べる「中食」や「外食」が増えており、その割合は日本の精米消費量の約40％を占める。

業務用米には、家庭で食べるブランド米と異なり、用途に応じた品質が求められる。胴割れしにくく、冷めてもおいしい。そして、安定した数量が求められる。会津よつば管内では、米作りの技術を生かし、安定供給を可能にしている。

７月の現地講習会。稲の生育確認。
高温・渇水の中、今年のできは…？

つくばSD２号って何？

- 短稈コシヒカリとミルキークイーンを親に持つ新品種の業務用米。
- 低アミロースのため、粘りが強く冷めても良食味。
- 丈が短いため、倒伏しにくい。
- コシヒカリより増収可能。
- 刈り取り時期はコシヒカリと同等か若干早め。

安定した価格と売り先 住友化学と連携した土台作り

管内で実証栽培を進めデータ管理を行うのが、住友化学グループだ。MiRISE（ミライズ）という米事業で、JAや生産者と連携した米作りを提案する。生産した「つくばSD２号」はすべて同社で買い取り、大手コンビニエンスストアの弁当などで商品展開する。

業務用米は家庭用の米と比べ、一般的に価格が安いが、つくばSD２号は多収品種のため、今まで通り、支出に見合った収益を確保できる。出荷先が決まっており、安定した価格で取引できるのは、生産者にとっても心強いのではないだろうか。

今後の生産について協議中。三位一体となって、どのようにPRしていくか話し合い。

私の挑戦は始まったばかり 生産者の声

つくばSD２号のデータ収集のほ場を提供するのが、喜多方市の辰野博幸さんだ。12ヘクタールのうち2.1ヘクタールはつくばSD２号を栽培する。昨年より50アール面積を拡大した。「個人の感想としては、コシヒカリよりも1俵から2俵多く収穫できる。倒れにくく、刈り遅れのリスクも少ないイメージ。刈取り時期が微妙にずれるので、稲刈りの繁忙期でも気持ちの余裕があった」と話す。

辰野さんが栽培を始めたのは、先進的な取り組みも魅力だったから。「今後は、スマートな農業が必要になってくる。生産性をさらに高め、かつ農産物の独自性や希少性など、付加価値をつける工夫や仕掛けが必要だ。これからは次世代の農業者が魅力を感じ参入できる「ものづくり」から、会津を多様な米産地として育む「ことづくり」を創造していきたい」と意気込む。

喜多方営農経済センターの十二村係長

住友化学株式会社の笹岡さん（左）、佐藤さん（右）

担い手農家にこそ伝えたい 業務用米は、むしろ強み

主に喜多方市で栽培を拡大する新品種「つくばSD２号」。JAは住友化学と連携し、現地説明会を実施するなど、栽培のノウハウを伝えている。今後は数量や品質について実績検討会を開く予定だ。さらに、新規栽培者の確保に向け、12月12日に説明会を開催する。

機械化で身体に優しい農業を

磐梯町　菊地（きくち）清一（せいいち）さん　裕美子（ゆみこ）さん

平成29年7月号の広報誌でも紹介した磐梯法正尻ほうれん草。今年の県農業賞は、磐梯法正尻ほうれん草生産部会から、菊地清一さんと裕美子さんが農業経営改善部門で受賞した。

菊地さん夫妻は、水稲やソバのほか、ほうれん草を約80アール栽培する。ほうれん草が主体になってからは12～13年ほどになる。39棟のハウスで4月下旬から9月下旬まで種まきするが、夏場は30日、春と秋では40日ほどで収穫できるほうれん草は、ほ場を3～4回転できる。そのため、栽培の延べ面積は264アールほどにもなる。

菊地さん夫妻は、機械の導入に積極的だ。最初に導入したのは梱包機。地区の3件の農家で導入した。最初から袋状になっている資材に詰めるのではなく、ロール状の資材でほうれん草を包み、両端と上部を留める。上を開けたままの資材より、とても日持ちが良くなるという。「ただ本当は、ほ場で収穫し、そのまま袋詰めした方が早く、効率的。私たちは、梱包機を使って、どのように効率的にやっていくかを考えた」と話す清一さん。

次に導入したのが、「ほうれんそう根切機」だ。ほうれん草を根から切り取り、栽培したままの立った状態を保つことが可能となるため、拾いやすい。特に春先と秋口に使用する。「大産地では、収穫をしつつ機械がまとめていく機械もあった。しかし、収穫時に取る下の葉を巻き込んでしまい、選別作業に手間がかかる。ここでは根切機の方が合っていた」と話す菊地さん夫妻。部会だけでなく、個人的にも他の産地を訪れ勉強し、地元で応用できないか考える。

ほうれん草の収穫から梱包まで時間が空くため、品質を落とさないよう、有孔ポリを敷いたコンテナへ納める。梱包がやりやすいように、束ごとに向きを揃えて入れる。収穫が忙しくなる時期はパートの方にも手伝いに来てもらうが、午前中は収穫、午後は梱包と時間を分けている。裕美子さんは「体力的な負担が少なくなった。午前中は腰に負担がかかるけど、午後は椅子に座って作業できる。みんな同じ仕事をすることで情報共有しやすい」と笑顔をみせる。

夫妻は堆肥作りにも力を入れる。地域の稲作農家と連携し、菊地さんの土地に集められたもみ殻を牧場に提供。それと牧場から届けられた糞を発酵させ、自家製の堆肥にする。秋に作り、施用する時期は毎年試行錯誤だ。

「食は基本。地域で同じものを作る、ライバルであり協力者が近くにいるからがんばれる」と話す裕美子さん。清一さんの就農時、法正尻ではすでに、ほうれん草が栽培の中心だったそうだ。「毎年どんどん新しい品種が出る。90歳近い方も作業している。年をとってもできるのが魅力。一つのハウスを早めに採り、回転させ作業効率を上げたい」と意気込む菊地さん夫妻。30年続ける農業も、まだまだ試行錯誤の連続だ。

1

2

3

1．ブランド名も印刷されたほうれん草。2．午前中に全員で収穫し、午後も全員で梱包する。3．梱包機。ロール資材でほうれん草を包み、両脇と上下を留め、袋を一つひとつ切り離す。一連の作業が一気にできる。4．収穫したほうれん草を入れたコンテナ。有孔ポリで品質を保ち、束ねやすいように入れて次の作業を効率的に。5．ほうれん草の重さを量る調整作業。後ろから続くベルトコンベアの両脇に、学校の教室のように席が並ぶ。椅子に座った作業のため、身体への負担が少ない。6．ほうれん草専用の根切機。左側にある部品が土にもぐり、ほうれん草が立った状態のまま根を切っていく。

4

5

6

間寛平・三瓶が稲刈り体験　吉本興業芸人と会津の農業を盛り上げる

自己改革

▲手刈りした稲とともに

10月6日、会津若松市で吉本興業の芸人・間寛平さんと三瓶さんが稲刈り体験を行いました。JAからは、長谷川組合長やスマイルガールズなどが参加しました。

寛平さんと三瓶さんがスマイルガールズとともに手刈り体験しました。JAの倉庫では全量全袋検査を視察、作業体験も行いました。寛平さんは、「これは、一番安全な米や」と感心していました。

さらにJAでは、会津米のおいしさを知ったうえでPRしてほしいと、二人に新米コシヒカリを贈呈しました。

会津での田舎暮らしを体験　移住定住モニターツアー

自己改革

▲収穫した籾の乾燥調製作業について説明を聞く参加者

10月6日～7日、JAと17市町村トップセールス会津の夏まつり実行委員会は、東京都の消費者を対象とした初めての移住定住モニターツアーを行いました。東京都から女性4名が参加しました。

昼食で新米コシヒカリと芋汁を味わい、農業体験や移住者と田舎暮らしについての意見交換なども行いました。参加者アンケートでは「稲刈りが体験できて良かった」「移住は大変だと思うが楽しく暮らしているのに驚いた」などの感想が寄せられていました。

愛媛を支援するJAグループ支援隊派遣

▲ミカン収穫を手伝う会津よつば職員

▲土砂崩れで流されたミカン園地

10月1日～5日まで、7月の集中豪雨で被災した愛媛県内の各JAへの支援活動に、JA会津よつば職員4名も参加しました。

愛媛県宇和島市のJAえひめ南管内の支援として、被災された各ミカン生産農家へ赴き、極早生ミカンの収穫支援活動を行いました。

極早生ミカンの園地は土砂被害に遭い、農家だけでは収穫作業に追いつかない状況でした。そのため、派遣先の農家から「収穫の遅れを取り戻せた」と感謝の言葉をいただきました。

受付コンテスト最優秀いいで総合サービス快挙

自己改革

▲最優秀賞を受賞した湯浅さん（右から２番目）

9月22日に県で開催された第4回葬儀受付コンテストで、JAの子会社であるJA会津いいで総合サービスの湯浅裕さんが最優秀賞を受賞しました。

このコンテストは、県内JA葬祭スタッフの葬儀受付業務の技術向上を目的に行われており、葬儀現場での対応力やマナー、情報収集能力などの項目で競います。

湯浅さんは「賞を賜り大変光栄に思う。この受賞を励みに、これまで以上に喪家様に寄り添う葬儀を心掛けていきたい」と話しました。

地元野菜ＰＲ　磐梯山サービスエリアで

▲野菜を買い求める観光客

10月14日、磐越自動車道上り磐梯山サービスエリアで磐越自動車道沿線都市交流会議が主催する「魅力発信福幸イベント」が開催されました。

このイベントは、磐越自動車道が開通してから毎年開催しているもので、今年は会津産農産物やJAの加工品などをPRしながら販売しました。

秋の行楽シーズンの休日であったため、会津身不知柿などは、開店と同時に完売するなど好評でした。

買い求めたお客さんは「野菜が大きく新鮮でおいしそう」と喜んでいました。

秋の味覚盛りだくさん!!　あぐりかふぇ新メニュー

▲秋の食材をふんだんに使った新メニュー

JAのあぐりかふぇCSに、10月より期間限定メニューが登場しました。

会津産の新米を楽しんでもらうため、10月から提供する白米はすべてコシヒカリの新米を使用しています。

新メニューは「あぐりのデミライス」「秋のクリームスパゲティー」の2品。デミライスはツヤツヤの新米を目で見て楽しんでもらいたいと考え、あえてお米が見える盛り付けになっています。

どちらも価格はサラダバイキング、スープ付きで980円。12月末まで提供します。

各地域の味を楽しむ　ばぁばの伝承料理教室

▲おいしい肉ざら完成！

JA会津よつば女性部協議会は10月24日、喜多方市のカイギュウランドたかさとで、「ばぁばの伝承料理教室」を開きました。今年度の第3回目で、女性部員など19名が参加しました。

4地区の伝承料理である肉ざら・こづゆ・くるみ餅・ねぎ餅・ぼうたら煮を作りました。参加者は各地区のなじみのない料理に驚きながら、自分の地区の料理を教え合いました。「地元でもぜひ作ってみたい」との声もあがりました。

第4回目は12月7日、若松本店で開催します。

会津牛に行列　肉牛部会が出店

▲行列ができる盛況ぶり

10月13日、喜多方市塩川町の日橋川緑地公園で、塩川三大お肉グルメフェアが開催されました。同市の三大肉として牛肉、エゴマ豚、鳥モツを使ったメニューが提供されました。春開催のところ、今年は会津塩川バルーンフェスティバルと同時開催となりました。

今年は稲刈りがいそがしい時期で、塩川支店職員が応援し、管内で生産振興している牛肉を串焼きと焼肉にして販売。県内外から大勢の観光客が訪れ、行列ができるほどの盛況ぶりでした。購入した人は「会津牛はおいしい」と満足した様子でした。

今年も快挙！農業賞

農業十傑として知られる第59回県農業賞に、今年も管内から4組が選ばれました。表彰式が9月7日に福島市で行われ、内堀雅雄知事が最高賞の農林水産大臣賞に輝いた喜多方市の五十嵐ファームの五十嵐貞雄社長に賞状を手渡しました。

管内の受賞者は以下の通りです。おめでとうございます。

【農業経営改善部門】

株式会社五十嵐ファーム（喜多方市）

農林水産大臣賞

菊地清一・裕美子夫妻（磐梯町）

有限会社会津みずほ農場（会津坂下町）

【集団活動部門】

農村女性活動の部

ただみ農家の嫁倶楽部（只見町）

元気に稲刈り　サツマイモ収穫も

会津若松市立永和小学校は9月26日、全学年合わせて106名が学校近くの田んぼで稲刈り学習を行いました。5月に植えたもち米「こがねもち」を収穫しました。

10月3日には2年生が5月に苗植えしたサツマイモを収穫しました。

▲一生懸命サツマイモを掘り起こす子どもたち

▲稲刈りを楽しむ子どもたち

子どもたちは、慣れない作業に苦戦しながらも、一生懸命元気に取り組みました。

稲刈り受け入れ　ねぎし社員が体験

JAは10月4日、喜多方市で、東京を中心に40店舗で牛タンやとろろ、麦めしなどの販売をする㈱ねぎしフードサービスの稲刈り体験を受け入れました。社員40名が参加し、手刈りで稲刈りを体験しました。

ねぎしの根岸榮治社長は「ひとつのチームとしてJAと協力し、会津のお米をより多くの人に提供し、おいしさを知ってもらいたい」と話しました。

稲刈り後は、新米と豚汁、同社提供のとろろが用意され、新米の出来栄えを味わいました。

▲チーム一丸で頑張ります！

柳津小学校稲刈り　感謝を込めて

▲稲刈り指導を行う盟友

9月26日、農青連柳津支部は柳津小学校4・5年生の稲刈り体験を指導しました。

盟友から鎌の使い方や稲の刈り方を学び、安全に楽しく稲刈りを行いました。ほ場にいる生き物と触れ合い、児童たちもとても楽しんでいました。

児童からは「日頃からほ場のお世話をしていただき、ありがとうございました。たくさんのお米が収穫でき、とてもうれしい」と感謝の言葉が上がりました。収穫したもち米は、同小学校の秋祭りにて関係者に振る舞われます。

黄金の稲穂の中をウォーキング　民友新米ウオーク

福島民友新聞社や湯川村などから構成する「あいづ新米ウオーク実行委員会」は10月8日、湯川村と会津坂下町の田園風景を楽しむ「2018あいづ新米ウオーク」を開催しました。JA会津よつばが協賛し、新米を提供しました。今年で4回目の開催で、約2000名が参加。JAからはスマイルガールズも参加し、参加者に新米コシヒカリ1kgを手渡しました。

郡山市からの参加者は「ウォーキングに参加したのは初めて。新米おにぎりもおいしい」と笑顔で話しました。

▲新米コシヒカリを手渡すスマイルガールズ

KARIYASU‘2018　楽しく稲刈り体験

只見町深沢地区では、9月22日に「KARIYASU‘2018」の稲刈り体験を行いました。

県内外から多くの方が参加し、手刈りで稲刈りを行いました。地元の高校生も参加し、合同会社ねっか協力のもと「18歳の酒プロジェクト」も同時開催され、たくさんの人で賑わいました。

締め太鼓の合図で一斉に稲刈りがスタートしました。参加した方は「とても大変だったが、いろんな方と話しながらでき、とても楽しかった」と話していました。

▲慣れない稲刈りを一生懸命に進める参加者

稲刈りとリンゴ狩り体験　富士シティオ稲刈りツアー

9月23日、JAは会津美里町で㈱東北むらせが主催する富士シティオ稲刈り体験ツアーの受け入れを行いました。JAの稲作部会高田支部部員やJA職員などが指導にあたりました。

ツアーは富士シティオ㈱で米を購入する顧客が対象で、参加者は鎌を使い手刈り体験をしました。さらに、近くのほ場でリンゴ狩り体験を行い、収穫したリンゴは持ち帰りできるなど、収穫体験を楽しみました。その後は女性部高田支部特製の豚汁と新米のおにぎりを味わいました。

▲リンゴ狩りを楽しむ参加者

お米になったよ！　農青連と園児が稲刈り

▲みんなで一緒に稲刈りしました！

農青連会津若松支部は10月10日、会津若松市にある菅原若葉こども園の園児たちと、同市内の農青連盟友積田夏貴さんのほ場で、稲刈り体験を行いました。

5歳児クラスの園児と保護者や農青連メンバーが参加し、子どもたちが5月に田植えをしたコシヒカリを収穫しました。

参加した園児は「お米がとれてうれしい」「自分で収穫して疲れたけど楽しかった」と収穫を喜びました。

今回収穫した米は、同園の収穫祭で振る舞われる予定です。

交通安全教室
交通ルールを再確認

10月24日、丸峰観光ホテルで、年金友の会田島・下郷地区を対象に交通安全教室が開かれました。

南会津警察署を講師に、交通事故の事例を取り上げた説明や、全席シートベルト着用の声かけを行いました。また、JA共済の地域貢献活動の一環として、春雨や雷蔵師匠による交通安全落語の披露があり、会場は大変盛り上がりました。

みなみ地区年金友の会連絡協議会副会長の湯田勝巳さんは「交通安全について楽しみながら再確認することができた」と話しました。

▲拍手が上がる場面もありました！

ゲートボールで健康増進
いいで地区年金友の会組合長杯

広報通信員

9月14日、西会津町さゆり公園ふれあい広場にて、いいで地区年金友の会組合長杯ゲートボール大会が開催されました。

この大会は、会員相互の親睦と健康増進を図ることを目的に毎年開催しており、各支部代表9チーム55名が参加しました。

各チームとも日頃の練習の成果を発揮し、元気に試合を楽しんでいました。

〈いいで地区本部・高橋麻衣子〉

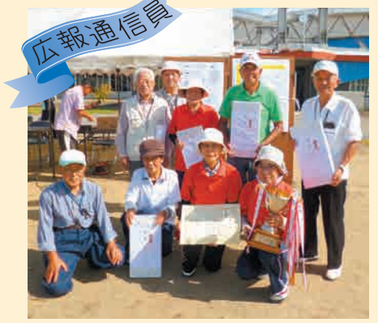
大会結果は次のとおりです。

優勝 萱本Dチーム
（西会津支店尾野本支部）

準優勝 原町チーム
（西会津支店野沢支部）

第3位 山都チーム
（山都支店山都支部）

喜多方支店チーム
（喜多方支店松山支部）


▲優勝を飾った萱本Dチーム

3年目を迎え
農福連携が定着

10月18日、会津坂下町で、福島県会津坂下町の若手認定農業者の有志で作る「未来工房こっぱる」は、同町のNPO法人の福祉施設とジャンボにんにくの定植作業を行いました。農業と福祉の連携は今年で3年目となります。

20日には湯川村の道の駅で、会津坂下町主催の「ばんげ福祉まつり」に参加し、収穫したニンニクを使用したガリ塩や、ゆでラッカセイを販売しました。

▲道の駅で一緒に販売しました

▼ジャンボにんにくの定植作業

人形供養と感謝祭
楽しめるイベントとともに

10月13日、JA会津よつばの子会社であるJAあいづ生活㈱催事センターは、提携する神保セレモニーホール天恵苑猪苗代会館で、人形供養祭と大感謝祭を同時開催しました。

バルーンショーやものまねショーなども行われ、人形供養祭には約1000体の人形が持ち込まれました。人形供養祭参加者には、無料で新そばと豚汁が振る舞われました。

家族連れの参加者からは「今回、2回目の参加で休日に開催してもらえるのはうれしい」と感謝の言葉をいただきました。

▲笑顔あふれるものまねショー

カスミソウを知ってほしい
かすみの学校受け入れ

昭和村は、全国最大規模のカスミソウ産地として、新規就農やカスミソウ栽培に興味を持つ人を増やそうと「かすみの学校」事業をスタートさせ、今年で2年目を迎えます。

宮城県から研修に来た菊地麻衣子さんは9月17日～20日まで、収穫や出荷前の調整、染色などを体験。受け入れ農家の菅家博之さんは「今年初めて受け入れを行った。一生懸命作業している姿を見て、自分の自信にもつながり楽しかった」と話しました。

▲収穫を体験する菊地さん（右）と菅家さん

オータムフェア
目当ての商品を手に取り

いいで地区は10月18日・19日、JAいいで会館でオータムフェアを開催しました。毎年開催で、ジュエリーや腕時計、バッグやオーダーメイドのスーツなどを安価に提供しています。

スポーツ指導員を講師に「腰痛・ひざ痛などの予防トレーニング」も行われ、実践を交えて体を動かしながら楽しみました。今年は血圧測定や介護相談コーナーも設けられ、来場者は「このフェアを毎年楽しみにしている。来年も来たい」と話しました。

▲講座を受ける来場者たち

日頃の感謝を込めて
まごころ斎苑感謝祭

10月20日、喜多方市のJAまごころ斎苑豊川で感謝祭が開催されました。

人形ぬいぐるみ供養祭や生前遺影写真の撮影会、座ってできる太極拳ゆったり体操など、様々なイベントのほか、無料でカレーライスや豚汁、玉こんにゃくなどがふるまわれ、多くの来場者でにぎわいました。

パフォーマー悠雲の大道芸では、来場の子どもたちと一緒にパフォーマンスを披露しました。子どもたちも初めて触る中国ゴマに興奮した様子でした。

▲パフォーマー悠雲（右）から中国ゴマを習う子どもたち

白熱した試合みせる
みなみ地区チビッコバレー

みなみ地区では9月22日、南郷体育館にて、第3回JA会津よつば組合長杯チビッコバレーボール大会を開催しました。この大会はみなみ地区が合併前から開催しています。

今回、男女混合でチームとしては7チーム88名が参加し、日頃の成果を発揮し熱戦を繰り広げました。

決勝戦では昨年と同じ南郷バレーボールクラブと荒海スポーツ少年団Aの戦いとなりました。南郷バレーボールクラブが優勝し、5連覇を果たしました。

▲練習の成果を発揮する子どもたち

営農、資材、歴史など…農業に関するもっと幅広い知識を様々な角度から紹介する、「よつば農業大学（カレッジ）」です！

12限目：「JAマネージメントと雪害対策」

よつば YOTUBA AGRI COLLEGE 農業大学

准教授　馬場　要助　さん
yousuke BABA

Q JAマネージメントって何？

A 税務申告時の農業決算方法（単式・複式）に応じたJAとの販売・購買・貯金の取引内容を集計して帳票（データ）で提供し、農業経営をサポートするシステムです。

	提供内容	利用料金（税込）	備　考
基本料金	帳票のみ	2，160円	
追加料金	税務資料	400円	「農業経営と税務対策」という確定申告に役立つ情報や方法をまとめた税務対策資料
	電子データ	1，296円	ソリマチ農業簿記、JA青色申告ソフト対応データをCD-Rにて提供
JA青色申告ソフト	初回	16，200円	別途基本料金と電子データ料金がかかります。
	2年目以降（更新料）	3，780円	

Q 提供の内容は？

A 次の4種類を提供します。

①単式簿記による提供帳票
取引明細表、科目別集計表、損益計算書（収支決算書）、按分表を提供します。

②複式簿記による提供帳票
取引明細表、科目別集計表、損益計算書、貸借対照表、按分表を提供します。

③税務申告ソフトのデータ連携（電子データの提供）
「JA青色申告ソフト（別売）」、「ソリマチ農業簿記（別売）」と連携できる取引データを提供します。

④消費税申告への対応
課税売上・仕入にかかる科目ごとの消費税額を集計し、表示しています（科目集計表）。

しかし1点注意していただきたいことがあります。提供する帳票は、JA取引のみとなっていますので、JA以外の取引（ホームセンター等）は自分で記帳し、「按分表」を利用して、事業・家事の按分計算により適正額を算出する等の決算額の修正が必要となります。

Q 申し込みはどうすればいい？

A マネージメント・JA青色申告ソフトを申込みたい場合は、**最寄の営農経済センターへご相談下さい。**

前年度の内容の確認と本人の意思を確認するため、**継続利用者の方も毎年申込書の提出が必要となります。**JAより届く申込書に記入し提出してください。JAに提出されない場合、提供されませんので忘れず申込書の提出をするようご注意ください。

なお、1月中旬から下旬頃の配布となります。

Q 料金は？

A 上の表の通りです。

Q 青色申告にするメリットは？

A 複式簿記にすると、65万円の所得控除が受けられます。赤字の農業所得は3年間繰り越せます。また、専従する家族への給与が全額必要経費になります。他にも、30万円未満の減価償却資産は一括経費になります。ただし、合計300万円までという制限があります。青色申告は収入保険制度への加入要件にもなっています。青色申告にすると税制上メリットがありますので、青色申告を始め節税をしましょう。

Q ハウスの雪害に対する事前対策は？

A 冬期間未利用のハウスのビニールは、事前に除去しておきます。冬期利用の場合は、パイプハウスの補強対策として、中柱（図1・写真1・写真2）や逆八字（図2）で補強します。補強パイプを入れてもいいですね。（写真3）それに合わせて、除雪機の保守管理も行うことも大切です。

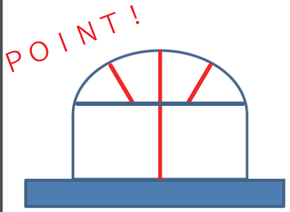


図2　中柱と逆八字

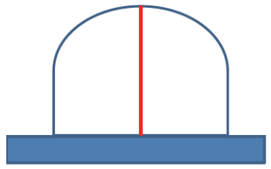


図1　中柱

写真3　太い補強パイプを入れたハウス

写真2　真ん中が中柱

写真1　中柱

Q 降雪時の対策は？

A ハウスの両サイドの雪をある程度取り除いてから上部にたまった雪を下ろし、均等に除雪します。屋根の片側だけに積雪があると、倒壊の危険が生じるので速やかに除雪してください。

Q 降雪後の対策は？

A 降雪後は、ハウス倒壊の恐れがなくなったことを確認の上、速やかにパイプハウス各部の損傷、ゆるみ、たるみなどを確認し、あった場合は速やかに補修します。

Q ビニール除去後のパイプハウスの除雪は？

A 豪雪地帯では、原則冬期間はパイプハウスを撤去してください。

Q 融雪対策は？

A 冬期間ビニールを外していたハウスでは、ハウス利用時期に合わせて内部の除雪やビニール張りを行い融雪を促します。もみ殻燻炭などの黒いものを撒くと、より効果的です。

ＪＡ会津よつば
経済部　経済企画課
馬場要助　係長

このコーナーは、紹介してくださる方を「教授」「准教授」「客員教授」「講師」などにあてはめて、農業にまつわるあれこれを大学の講義のようなかたちで紹介していきます。

よつばのステキを発見！ですぞ♪
コメナルド画伯が行く！

広報通信員　伊南支店
馬場　浩行支店長

新住所
南会津郡南会津町
古町字居平１３－１
番地が変わりました！

装い新たについにオープン！新築！伊南支店ですぞ♪

11 月５日、伊南支店がリニューアルオープンしました。新しくなった伊南支店は、平屋建てで、階段や段差がなくなったバリアフリーを重視した設計になっています。また、新たに床暖房が入り、これから寒い時期に向け、お客様を温かく迎えます♪

支店の外観の色合いは支店長中心に調整し、お客様が親しみやすい色にしています。また、支店の内装については、各所に伊南支店職員の意見が反映されたものとなっています。

周辺には善導寺や、樹齢 800 年以上の古町の大イチョウもあり、イチョウは 11 月にライトアップもされる予定です。見どころいっぱいですね♪新店舗として新たなスタートを切る伊南支店。地域密着型の支店として頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします！

寒い冬もぽかぽか♪床暖房ですぞ～♪

Vol. 9　自己改革に関する

全組合員調査（アンケート）を実施します！

JA自己改革

ＪＡ会津よつばは、「会津の豊かな自然と文化を守り、夢と活力のある農業と、安心して暮らせる地域社会の実現をめざす」という基本理念のもと、役職員一丸となって、自己改革に取り組んでいます。

？どうして実施するの？

全組合員調査（以下組合員アンケート）は、組合員の意思を政府に示すために行う、すべての組合員の皆様を対象とした調査です。

皆様からのＪＡに対する評価は、今後、政府が検討している准組合員の事業利用規制など、ＪＡ事業運営の方向性を検討するうえで大変重要になります。そのため、組合員の皆様のご意見・評価を確認させて頂きたく、組合員アンケートを実施します。

？なにを調査するの？

質問内容は、ＪＡが実施する自己改革についてです。大きく分けて４分類あります。「総合事業の必要性」「営農事業の取り組み」「自己改革の認知度」「准組合員の事業利用規制について」の４項目です。正組合員で24問、准組合員で11問となっています。

？どうやってやるの？

職員が皆様のお宅に直接訪問し、アンケートを行い回収します。アンケートは無記名で、所要時間は20分ほどです。対象者は全正組合員（世帯）と、全准組合員（世帯）で、**１世帯１回の実施**となります。

実施期間は**２０１８年12月から２０１９年４月まで**です。予備期間として、２０１９年５月から12月までを予定しています。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします

目のストレッチ方法

坂下厚生総合病院　視能訓練士　大塚　　直

長時間パソコン作業を行うと自然と瞬きの回数が減り、目が乾く、目の奥が重くなる、といった症状が出てきます。さらには目の疲れから肩がこる、首や肩・腕が痛むなど様々な症状に進展することも。パソコン作業をするときは、１時間ごとに10～15分の休憩をとり、目を休ませてあげましょう。疲れ目の改善やリフレッシュには、目の周りの筋肉をほぐすストレッチが効果的です。

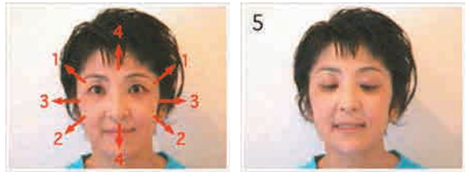
１　ウォーミングアップ

１.左右交互にリズミカルにウィンク10～20回
２.同様に少しスピードを速めて10～20回
３.今度はフワッとゆっくり柔らかく10～20回
４.最後は意識的にギュッと強めに10～20回
５.仕上げに両目をギュッと閉じてパッと開く３回

ここがポイント　**ウィンクをすると目の周りがほぐれ適度な刺激で涙がゆきわたって目がスッキリとしてきます。できる範囲のリズムで無理をせず行いましょう。**

２　目のストレッチ上下左右体操

１.右まゆを見つめる。視線を戻して左まゆを見る各３秒
２.同様に右ほほを見る。視線を戻して左ほほを見る各３秒
３.右耳を見つめる。視線を戻して左耳を見る各３秒
４.髪の生え際、視線を戻してあごを見る各３秒
５.最後は鼻を見つめる各３秒



ここがポイント　**目を動かす筋肉を大きく動かすことで疲れをとる体操です。顔は正面に向けたまま動かさず、顔のパーツを見るつもりでキュッとみつけるように視線だけを送ります。慣れてきたらそれぞれ5秒ずつ行いましょう。**

３　仕上げのストレッチぐるぐる体操

１.ゆっくりと右回りに眼球を回す２～３回
２.同様に左回りで眼球を回す２～３回
３.最後は寄り目にして５秒キープ、戻してリラックス

ここがポイント　**目をなめらかに動かす体操です。無理をしないで体調の良い時に目が回らない程度にゆっくりと行って下さい。視界に色々なものが入ってきますが、集中力を高め、目のふちを見るような感じで行いましょう。**

坂下厚生総合病院
〒969-6556　福島県河沼郡会津坂下町字逆水50番地　TEL 0242（83）3511

◆◇組合員の皆さまへ◇◆

組合員資格確認について（お願い）

当ＪＡ組合員の皆様におかれましては、組合員届出事項や組合員資格要件に変動が生じた場合、定款の定めるところにより、速やかに書面にて届出いただくことになっております。下記のような変動があった場合には、お手数ですが最寄りの当ＪＡ各支店にてお手続きいただきますようお願い申し上げます。

＜主な変動事由＞
⑴　組合員がお亡くなりになられた場合
⑵　当ＪＡに届出している基本情報（姓、住所等）が変更になる場合
⑶　⑵のうち当ＪＡが管理する地域以外に転出する場合
⑷　職業として新たに農業に就農した場合、もしくは離農した場合（※組合員資格変更届）

【当組合の組合員資格】

●正組合員資格

⑴　10アール以上の土地を耕作する農業を営む個人であって、その住所又はその経営に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。
⑵　１年のうち90日以上農業に従事する個人であって、その住所又はその従事する農業に係る土地又は施設がこの組合の地区内にあるもの。
⑶　農業を営む法人（その常時使用する従業員の数が300人を超え、かつ、その資本の額又は出資の総額が３億円を超える法人を除く。）であって、その事務所又はその経営に係る土地がこの組合の地区内にあるもの。

●准組合員資格

⑴　この組合の地区内に住所を有する個人で、この組合の事業を利用することが適当と認められるもの。
⑵　この組合の信用事業、または購買事業、または販売事業、または共済事業を１年以上継続利用している、組合の地区内に勤務地を有する個人であって、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。
⑶　この組合の地区外に住所を有する個人で、購買事業、または運搬・加工・貯蔵及び販売事業、または当組合が管理する特例農地を１年以上継続利用し、引き続きこの組合の事業を利用することが適当であると認められるもの。

※当組合の地区は、福島県会津地方17市町村全域となります。

みんなの広場

コメナルド画伯が紹介

コメナルド画伯公式 Twitter @Komenardo
ＪＡ会津よつば 公式 Facebook

今月のお手紙

○むらづくり部門・農業生産部門で活躍している団体の記事を読み、これまでの努力と未来への志向を知ることができ、参考になった。素晴しい活動だと思った。
（下郷町　大竹さん）

○恥ずかしいですが、天王柿始めて知りました。緑色でゴルフボール位の大きさとのこと。渋を搾るとのこと。収穫作業は大変だったでしょう。会津から京都へと、その努力されておられる方に頭が下ります。
（喜多方市　渡部さん）

○特集知り合いが載っていました。おいしい米を作るには大変な苦労があったんですね!!
（会津若松市　渡部さん）

会津の農家の皆さんの取り組みが実を結んでいますぞ～！これからも応援していきますぞ♪

○三島町を紹介していただきありがとうございます。只見川第一橋梁は20数年前、鉄道沿線ＪＲ東日本一の風景として広く紹介されたそうですよ。
（三島町　鈴木さん）

○会津のことが分かり楽しいです。年2回そちらにお邪魔していますが嬉しいです。
（東京都　小宮さん）

ありがとうですぞ～♪これからも皆さんに楽しんでもらえるような情報をお届けしていきますぞ♪

文芸のひろば

秋晴れや　足止め見れば　黄金の
　稔う稲穂よ　鈴の音ならし
昭和村　栗城　ツキ子

この杉の木　育った頃には　俺家(おいえ)でもと
　働いだ昔が　懐(なつ)かしい
柳津町　菊地　義隆

秋晴れに　色鮮やかな　彼岸花
　指に止まるが　とんぼ飛び行く
会津若松市　馬場　紋子

新米の　ごはんとお神酒　神棚に
　感謝と敬意で　礼拝を
会津若松市　折笠　ミチヨ

色どりの　山の木々を見て　感嘆す
　その色合いは　一幅の絵なり
喜多方市　菊地　よしみ

八十年　わが過ぎ来しに　関はれる
　人思いつつ　畑の草とる
会津坂下町　鈴木　トキ子

七難を　隠す女に　パフがある
湯川村　小林　輝子

蕎麦口上　祝ふ米寿の　膳に載り
会津坂下町　高畑　みさえ

子供には　大きな夢を　負んぶさせ
喜多方市　岩下　スミ子

平成は　天災多いが　長寿増え
喜多方市　高橋　禮香

九拾歳へ　まだ手付かずの　明日あり
喜多方市　鵜川　俊子

猛暑去って　クーラー冬眠　十ヶ月
喜多方市　樋口　和男

秋深し　夕やけ空に　トンボ群れ
喜多方市　遠藤　幸一

年老いて　杖を頼りに　宮参り
会津美里町　山浦　林一

小豆もぎ　洗って干せば　赤ダイヤ
会津美里町　山浦　光子

秋刀魚焼く　焦げめほどよき　炭火かな
喜多方市　入岡　睦子

秋刀魚なら　生姜に味噌と　香り焼き
柳津町　斎藤　泰花

秋山を　すっぽり写す　只見川
会津坂下町　五十嵐　幸子

刈取られたる　稲株あとに　ありがとう
会津若松市　五十嵐　幸枝

肩に来て　挨拶交わす　とんぼかな
湯川村　鈴木　静代

新米の　袋なぜてる　老まろし
会津若松市　白川　玲子

至福どき　秋の味覚に　舌つづみ
会津坂下町　相模莫迦

ボケ試しと　パズルの應募　芽木光る
喜多方市　大塚　シノブ

今月のおもしろ野菜

飯塚　千代枝
蛇みたい
（三島町）

玉村　富士子
散歩したいなー
（南会津町）

佐藤　武清
トマトの親子
（喜多方市）

吉津　美都里
ヒヨコちゃんで～す♪
ピヨピヨ
（只見町）

武藤　郁代
おすわり大根♪
（喜多方市）

大竹　節子
かぼちゃなのかな？
（会津美里町）

横田　洋子
1本で超ビックなさつま芋が7本とれました
（金山町）

川嶋　一雄
柿の「招き猫」
（会津美里町）

沖間　富男
まるでショーをやっているみたいですね
（会津美里町）

馬場　千恵子
カモから姿身か？
じゃがいも親子の家族の団らん
（南会津町）

小林　悦子
「なす天狗」
（会津美里町）

湯田　巧
柿のハロウィンパーティー
（下郷町）

鈴木　恵子
不思議な形の柿ができました
（三島町）

角田　裕子
大きさや形の違う柿ですがみ～んなえぼし柿です
（金山町）

平野　リツ子
孫が畑にグローブを忘れたのかと思いました
（南会津町）

佐藤　保子
素敵な大根
（喜多方市）

田﨑　トシ子
グローブみたいなナス‼
（柳津町）

原　光昭
くっつきシリーズ
（会津美里町）

神村　正子
ミョウガの花が咲きました
（会津美里町）

田中　スミイ
赤ん坊が這い這いする姿の柿、見付けたよ
（会津若松市）

今月の絵手紙

南会津町
馬場　忠子

会津美里町
村松　美智子

西会津町
斎藤　ノイ

西会津町
青津　栄子

喜多方市　高畑　光

みんなの広場　お便り大募集

9月号応募総数190通　ハガキ152通　メール22通、俳句のみ16通、うち正解者170通

このコーナーではみなさんの声をお待ちしてますぞ！写真やイラスト、川柳や短歌、おもしろ野菜、手芸などなんでも募集しますぞ！

【宛先・お問い合わせ】
総合企画部　組織広報課　TEL0242-37-2450
メール：info@aizuyotuba.jp
〒965-0025　会津若松市扇町35-1
JA会津よつば　みんなの広場係行

注意事項
○誌面の都合上、投稿いただいた作品のすべてを掲載できません。
○掲載にあたりペンネーム希望の方はご記載ください。
○投稿いただいた作品は返却いたしません。また、お送りいただいた作品（絵手紙・写真など）の著作権はＪＡに属します。
○ご投稿いただいた内容は、意味などを変更しない範囲で校正させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

締切　平成30年11月30日（必着）

※各地区の広報誌配布時期により、掲載月が前後する場合がございます。あらかじめご了承ください。

「よつば」10月号
クロスワードパズル答え

ヤキイモ

当選者はプレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます

チャレンジクロスワードパズル

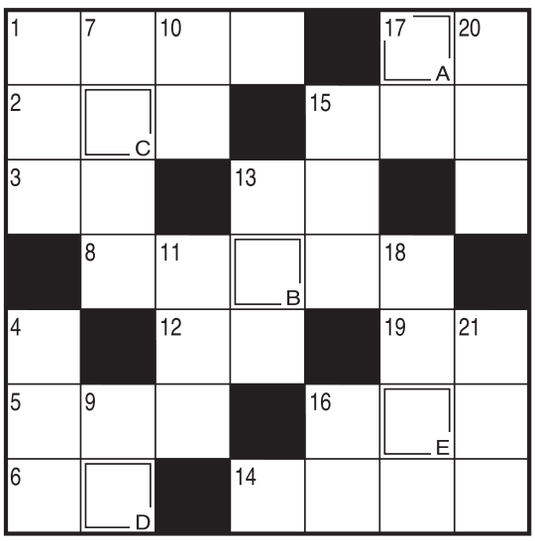
タテのカギ

1 香りマツタケ、味―本の字や絵が描かれていない部分
4 田島祇園祭の神事「御党屋御千度参り」は黒の―と白の股引きで神社を参拝します
7 象形、甲骨、くさび形
9 夫の対義語
10 「山陰の小京都」と呼ばれる町
11 演歌歌手の第一人者として有名な春日八郎さん。地元の会津坂下町には―公園がある
13 かつては各地の農村にあった―小屋、南会津も
15 「大桃の舞台」「檜枝岐の舞台」などが有名
16 獲物を木の枝に刺す鳥、―のはやにえ―
17 10月から12月の期間、会津若松市にて「あいづ食の―米・酒」が開催中です！
18 暦注の一つで先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6つの曜のこと
20 小説などに添えられたイラスト
21 大きな魚はこの状態で売ってますね

ヨコのカギ

1 旧暦の11月
2 ラーメンの具のひとつ、竹の発酵食品
3 似てないけれど、―の兄弟なんです
5 ナイフや包丁の総称
6 宝だったりあみだだったり
8 こんがり―に焼けたパン
12 会津は古くから、お―など漆器の産地です
13 猪の口からにょっきり
14 会津には、全国で4番目に大きい―がありますね
15 ―服を仕立てた
16 会津喜多方ラーメン館の―駅は喜多方駅
17 日本標準時と南会津郡の―は17～19分
19 アスパラの夏秋穫りに欠かせない作業、「立てる―」と書いて「りっけい」と読みます

Q 二重マスの文字をAから順に並べてできる言葉はなんでしょう。



〇宛　先：〒965-0025　会津若松市扇町35-1
ＪＡ会津よつば　クイズ係 行
メール：info@aizuyotuba.jp

〇応募方法：ハガキまたはメールにて①答え②郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号③ご意見、ご感想をご記入のうえご応募ください。
※個人情報は景品発送準備以外の目的には使用しません。

締　切　平成30年12月５日（水）消印有効
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

☆今月のプレゼント☆　パズルの正解者の中から抽選で20名様に
会津身不知柿を使った商品をプレゼント！

理事会だより

第11回理事会　10月30日開催

◆議　事
※全議案可決承認されました。
議案第1号　県行政検査（常例検査）の指摘事項並びに回答について
議案第2号　農林中央金庫への劣後ローン借替並びに後配出資の増資要請の対応について
議案第3号　「ＪＡ事業運営モデル指針」制定に伴う事業運営モデルの選択について

◆報告事項
報告事項1　9月末実績について
報告事項2　平成30年度上期員外利用状況調査の実施結果について
報告事項3　「第1次会津よつば地域くらし戦略」上期実践状況について
報告事項4　職員の異動について
報告事項5　固定資産関係報告について
報告事項6　伊南支店新築工事竣工式並びに落成祝賀会の開催について
報告事項7　平成30年度9月分自主検査の結果について
報告事項8　平成29事業年度末基準体制整備モニタリング結果報告について
報告事項9　平成30年度ＪＡ会津よつば「ホクホクキャンペーン」の実施について
報告事項10　ＪＡ会津よつば農業振興大会の開催について
報告事項11　原発事故に伴う農畜産物損害賠償請求状況について
報告事項12　平成30年産米集荷実績について
報告事項13　内部監査の結果について
報告事項14　北陸新幹線企画集客状況について
報告事項15　共済推進実績状況について
報告事項16　平成30年北海道胆振東部地震に対するＪＡグループ福島の支援について

編集後記

▼やっと！秋晴れが気持ち良くなりましたね。これからどんどん寒くなりますが、貴重な晴れ間にちょこっと外に出て、空を見上げてみてください。私はこれでけっこう元気になれます。雨上がりにはキレイな虹が見られるかも♪（佐藤）

▼いつの間にか吐く息も白くなって、季節は駆け足で過ぎていく…。平成最後の、なんてつけると特別感が増しますが、平成もあと5か月くらい。そう思うとなおさら日々を大切に過ごそうと思いますね。（平野）

▼今月号のコメナルドが行く！の取材行ってきました。ちょうど紅葉のきれいな時期で秋を堪能してきました♪また、古町の大イチョウは写真で見ても大きいですが実際に見ると圧巻です！ライトアップも楽しみですね！（湯田）

▼私が組織広報課の配属となって、もう半年以上が経ちました。忙しいと時間の流れが速く感じるとよく言いますが、あれは本当なのですね。皆様からの激励のお手紙が、日々の活力となっております。ありがとうございます。（渡部）